

2010年1月20日

株式会社 電通パブリックリレーションズ

電通パブリックリレーションズ
第1回アジア・パシフィック・セイバー・アワードで国別最高賞受賞

株式会社 電通パブリックリレーションズ（代表取締役社長：石松茂樹、本社：東京都中央区、以下電通 PR）は、PR 業界のグローバルな情報プロバイダーであるホルムズ・グループ（代表：ポール・ホルムズ、本社：ニューヨーク）が主催する「アジア・パシフィック・セイバー・アワード 2009」において国別最高賞を受賞しました。

受賞したキャンペーンは、株式会社 岩波書店の「ページをめくれ：紙の辞書を再定義する」です。同キャンペーンは、業務領域のカテゴリとして「消費者向けマーケティング（既存商品）」、また、産業カテゴリとして「消費者向け製品／サービス」でエントリーし、産業カテゴリにおいては、最終審査まで残りました。

2009年に始まった第1回アジア・パシフィック・セイバー・アワードは、20以上のカテゴリに393件ものエントリーがある、アジア太平洋地域で最も注目を集めるPR業界の賞です。日本からも27件のエントリーがありました。

「セイバー（SABRE）」とは、「Superior Achievement in Branding and Reputation」の略で、ブランディングおよびレピュテーション（評判）の構築において優れた業績をおさめたPRキャンペーンが表彰されます。この賞は北米で1989年に「CIPRA アワード」（CIPRA：Creativity in Public Relations Award）としてスタートし、2000年にセイバー（SABRE）という名称に変更されました。2005年にはEMEAセイバー・アワード（EMEA：ヨーロッパ・中東・アフリカ）がスタートしましたが、北米では毎年1800件、EMEAでは25カ国から毎年1200件ものエントリーがある、業界で最も重要な賞のひとつとなっています。

電通PRの石松茂樹社長は、「今回受賞したキャンペーンは、国際PR協会（本部：イギリス、サリー州）においても、『既存製品のためのコンシューマーPR』のカテゴリでゴールデン・ワールド・アワード・フォー・エクセレンスを受賞しました。2008年には社団法人日本パブリックリレーションズ協会（略称：日本PR協会）主催の『PRアワード』グランプリを受賞しています。今回また、記念すべき第1回アジア・パシフィック・セイバー・アワードで国別最高賞を受賞し、多くの方から高い評価をいただけて大変うれしく思っています」と述べています。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 電通パブリックリレーションズ 総務広報部

Tel：03-5565-2740 Fax：03-5565-8658

〒104-8210 中央区銀座2-16-7 <http://www.dentsu-pr.co.jp/>

アジア・パシフィック・セイバー・アワードのエントリー・カテゴリー

<地域カテゴリー>

- 国別（オーストラリア、中国、インド、日本、韓国、東南アジア）
- 複数国（2カ国以上で実施されたキャンペーン）
- アジア太平洋全域

<業務領域カテゴリー>

- 消費者向けマーケティング（既存商品）
- 消費者向けマーケティング（新製品）
- ビジネス to ビジネス
- 企業イメージ
- コーポレート・ソーシャル・レスポンスイビリティ
- ファイナンシャル・コミュニケーションズ
- パブリック・アフェアーズ/イシュー・マネジメント
- エンプロイイー・コミュニケーションズ
- デジタル・アンド・ソーシャル・メディア

<産業カテゴリー>

- 消費者向け製品/サービス
- 工業/製造業
- 食品・飲料
- ヘルスケア
- テクノロジー
- 旅行・レジャー
- 公的機関
- 非営利団体

株式会社 電通パブリックリレーションズについて

株式会社 電通パブリックリレーションズ（以下電通 PR）は、1961年の創立以来、日本の PR 業界のパイオニアとして、国内外の企業・政府・団体のコミュニケーションをサポートしてまいりました。株式会社 電通の 100%子会社である電通 PR は、大阪に支社をもつ数少ない PR 会社のひとつです。代表取締役社長である石松茂樹のもと、現在 225 名の社員（うち 15 名は関西支社）が、各種マーケティング・コミュニケーションからクライシス・イシューマネジメントなどのコーポレート・コミュニケーションまで、クライアントに総合的なサービスを提供しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。www.dentsu-pr.co.jp